

■会期／10月1日(火)～10月20日(日)20日間
 ■会場／信楽まちなか、滋賀県立陶芸の森、MIHOMUSEUM



“やきもののまち”として長い歴史と文化に支えられ、発展してきた信楽。この地には、今なお伝統的な技術が今日に受け継がれており、窯跡や古い民家など、やきものの里としての風景も数多く残されています。『信楽まちなか芸術祭』は、これら「陶都・信楽」の財産を生かし、やきもの文化を多くの人に知っていただくと共に、信楽というまちがもつ多面的

な魅力を発信していきます。
 第2回信楽まちなか芸術祭のテーマを、「陶とまち」-発見と創生-とし、信楽に住む私たちが考える、等身大の「今までの信楽」「信楽の今」「これからの信楽」を訪れる方々に見て感じていただければと考えています。



第2回 信楽まちなか芸術祭

THE TANUKI -たぬき・狸・タヌキ- まちなか会場



高さ約120センチの原型から創り出される個性いっぱいのタヌキ

信楽在住の陶芸作家を中心に、オール信楽で挑戦するイベントです。作家一人ひとりが独自の感性で創生した信楽の代名詞「タヌキの置物」を制作します。伝統色づくまちなか各所に100体を超えるオリジナルタヌキを展示し、伝統とアートを融合させたプロジェクトです。

個性いっぱいのタヌキを探しに訪れませんか

「THE TANUKI-たぬき・狸・タヌキ」事業担当
 陶芸作家 谷野明夫さん



作り手みんなが芸術祭に参加し、盛り上げていこうという思いから、この「THE TANUKI」を企画しました。現在、信楽在住の陶芸作家や学生などを含めて約100名が参加し、制作しています。

信楽のイメージとして浸透しているタヌキの置物ですが、作家でタヌキを作っている人はあまりいません。誰もが今まで作ったことのないタヌキに挑戦し、作り手一人ひとりが楽しんで、百人百様のタヌキを創り出しています。

芸術祭では、まちなかのあちこちに展示され、見慣れたタヌキにまぎれてこの個性的なタヌキが出没します。

皆さん、ぜひ案内マップを持って個性いっぱいのタヌキを探しに訪れ、信楽のまちの魅力を味わってください。

問い合わせ

信楽まちなか芸術祭実行委員会事務局

☎ 70-3304 / ☎ 70-3141

※詳しくはホームページをご覧ください <http://shigaraki-fes.com>

まちなか会場

共通見学時間／9時30分～16時30分

「まちなか」では、「陶器」という文化が育んできた「まち」を実際に散策して体感していただけます。

「THE TANUKI-たぬき・狸・タヌキ-」

信楽伝統産業会館
「まちなか芸術祭記念作品展」
 【時間／9時～17時】

「陶都・信楽陶器まつり2013」
 【開催期間／10月12日(土)～14日(月・祝)】

『住民まちなかプロジェクト』

住民自らが「まちなか芸術祭」を盛り上げ、まちなかを散策して楽しめる企画やイベントをつくるプロジェクト。

- ぶらり窯元めぐり(工房見学)
- 信楽青年祭企画
- まち角から～それぞれの心、それぞれの形で～
- 信楽高等学校×成安造形大学「ワークショップ」
- FMしがらき

FMに興味のある方は、事務局までご連絡ください。

※そのほか、まちなか会場では住民の皆さんによる様々な企画が行われます。

陶芸の森会場

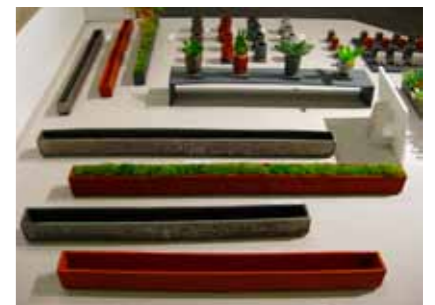
共通会館時間／9時30分～17時
 【入館16時30分まで】

「陶芸の森」会場では、展示企画を通じて、陶器産地・信楽焼の過去から現在の移り変わりなど、今昔を感じていただける展示を行います。

第81回信楽陶器総合展
「信楽からつたえたいコト展」
「信楽焼 エクステリア陶器の今昔」
「セラミック・アート・マーケット in 陶芸の森 2013」
 【開催期間／10月12日(土)～14日(月・祝)】



▲作り手と使い手がふれあいながらうつつわ遊びができるのもセラミック・アート・マーケットの醍醐味



▲作り手自らが、信楽焼きを通して伝えたい想いを込めた自信作を展示

特別展「酒器の玉手箱」
 ～人生を楽しむやきものシリーズ①～
 お茶漬の日企画
「あなたはどれで…お茶漬け碗」
「登り窯・金山窯焼成事業」
 【焼成／10月1日(火)～4日(金)】

※そのほか、デザインコンペ「馬の造形・馬の美」の作品展や「ワークショップ-狸をつくらう!-」なども開催します。

ミホミュージアム

秋季特別展
「朱漆「根来」-中世に咲いた華-」
 【時間／10時～17時(入館16時まで)】
 ※月曜日休館